

2019 年度 第 5 回全国健康保険協会佐賀支部評議会議事録

- ◎日 時 2020 年 1 月 20 日（月）16：00～17：15
- ◎場 所 全国健康保険協会佐賀支部 7 階会議室
- ◎出席者 学識経験者（平部評議員、丸谷評議員）
事業主代表（江島評議員、宮原評議員、吉村評議員）
被保険者代表（蕪竹評議員、八谷評議員、原評議員） 50 音順

オブザーバー 佐賀県国民健康保険課、佐賀県健康増進課

◎議題

1. 2020 年度の保険料率について
2. 2020 年度の支部事業計画（案）・支部被保険者機能強化予算（案）について
3. その他

◎主な意見等

1. 2020 年度の保険料率について

資料 1 に基づき、事務局から説明。
主なご意見等は以下のとおり。

【議長】

インセンティブ制度の評価指標 5 項目のうち最も成績が良かったのはどの指標か。

【事務局】

重症化予防（医療機関への受診勧奨を受けた要治療者の医療機関受診率）の部分である。

【事業主代表】

保険料率に関する意見については、10 月に佐賀支部評議会として提出した意見書の内容から変更する状況にはなく、単年度収支均衡の原則という法の主旨を遵守してほしい。運営委員会の資料の中に「状況に大きな変化がない限り、基本的には中長期的な視点で保険料率を考えていくこと」という文言があるが、準備金が 3.8 か月まで積みあがっている状況を大きな変化と捉えていないのは問題ではないか。また、前年度 6 支部が保険料率の引き下げを要求していたのが 2 支部に減少したことを中長期的な料率に対する考え方が浸透してきているとするのは誤解ではないか。本部の考え方が正しいという態度が透けて見えているの

は納得がいかない。

【議長】

平均保険料率は単年度収支均衡を原則としながらも中長期的な考え方が柔軟な財政運営ができる点を示しているが、介護保険料率は厳格な単年度収支となっており、整合性や根拠が問われる部分が他方にはある。この問題については来年度以降の議論の際に検討が必要である。

【被保険者代表】

保険料率が-0.02%となったことはインセンティブ獲得も含めて支部の努力の結果であり、継続していただきたい。

【議長】

私も同意見である。他支部の保険料率の推移については把握していないが、これまで保険料率が引き上がってきている状態が続き、保険料率も高かったが、来年度についてはインセンティブ獲得など支部の努力の結果が表れ、保険料率が引き下がるという明るい材料ができた。広報の際には保険料率が高い点、努力すれば保険料率が下がるという点については周知していただきたい。

2. 2020年度の支部事業計画(案)・支部保険者機能強化予算(案)について

3. その他

資料2-1、資料2-2、資料3に基づき事務局から説明。

主なご意見等は以下のとおり。

【学識経験者】

支部医療費適正化等予算で子育て世代をターゲットとした適正な医療のかかり方の推進についてはどういった事業を検討しているのか。私自身は自治体から#8000 マグネットをもらっているが、協会けんぽが実施する事業はどういったものか。

【事務局】

理解度調査の結果において佐賀支部では#8000の認知度が低いことから県や市町村の取り組み状況を確認したうえで#8000を中心に実施を検討している。

【事業主代表】

加入者の認知率に関しては医療費が全国一高いという状況の広報が重要。全国平均と比

較しても佐賀支部の保険料率に対する認知率が低いことは問題である。

【被保険者代表】

認知率に関する調査においてアンケートに協力される方々は意識が高い方であって、実際の認知率はさらに低くなるのではないかと懸念している。

【事務局】

支部としてもそこは承知している。まずはテレビCMを活用した広報を実施し認知率を向上したいと考えている。

【事業主代表】

テレビを媒体とすれば認知率は向上すると考えているのか。

【事務局】

佐賀県民に広く周知するための広報媒体として新聞は活用実績があるので、今年度より新たにテレビCMの活用を進めている。

【被保険者代表】

見せ方の問題である。新聞で広報を行う場合にはわかりやすい内容であることや伝え方などを検討する必要がある。

【議長】

ターゲットを絞った広報を実施する必要がある。佐賀県においては車通勤の時間を狙ったラジオと公共交通機関を利用する方に対する広報媒体として駅前でのチラシ等の配布を実施した結果、一定の効果があったと聞いている。中小企業で勤務されている方を中心にどのような広報を実施するか検討すべきであって、やみくもにテレビ等の媒体を使っただけの広報となってしまうのはいけない。

【事業主代表】

子育て世代をターゲットとした適正な医療のかかり方の推進についてはどういった目標設定をしているのか。未就学児の医療費が高いことは事実だが、子育て世代をターゲットとするよりも、重症化予防に注力する必要があるのではないかと懸念している。

【事務局】

他支部での事例を精査しながら、効果的な手法を選択し、エビデンスがわかる方法で事業を実施したいと考えている。

【議長】

未就学児だけでなく、その親についても、健診の推進や健診を受診しやすいような環境の提供を行うなど予算を有効に活用できるよう検討いただきたい。

【被保険者代表】

病院を受診する際にジェネリック医薬品に関するポスターはよく見かけるが、インセンティブ制度や佐賀の保険料率に関するポスターなどの掲示も必要ではないか。

【議長】

医療機関等の理解を得るのが困難ではないだろうか。まずは公共性の高い医療機関から依頼をし、取り組みが広がる中で関係団体からのご理解がいただけるように交渉していただきたい。

以 上

令和 年 月 日

議事録署名人 _____ 印

議事録署名人 _____ 印